



後援会 だより Vol.16

【安心できるまちづくり活動報告】
桶川市議会議員 山中 敏正
連絡所 ☎ 048-787-3796



令和 4年 2月発行



3月議会は2/22開会(予定) スマートフォンでアクセス!
<https://www.yamanaka-toshimasa.com/>

市議会について、桶川市HPから本会議のライブ中継をご覧ください。 [桶川市議会スマート中継](#) [検索](#)

春寒のみぎり、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。2021年は、1年遅れでの東京五輪が開催され、日本人が多く金メダルを獲得したことは、私達に勇気と感動を与えてくれました。社会情勢では、コロナ禍で2年目を迎え、緊急事態宣言も発令される中、デルタ株の蔓延もあり、一時は医療ひっ迫の状況になるなど、感染症対策に追われる一年となりました。新型コロナワクチン接種も進み希望の光が見えてきたように思われましたが、年が明けて新しいオミクロン株の影響で感染者が急増しています。このような状況下、桶川市はワクチン追加接種への取組を進め、65歳以上の高齢者の方は2回目の接種完了から7か月経過後より追加接種が可能となり、1月11日(火)より予約を開始いたしました。2回目の接種日より予約開始日は変わりますが、接種対象者に接種券が発送されますので、そちらをご確認ください。予約方法は、①予約代会場での予約(ペニバナウォーク桶川・坂田コミュニティセンター・桶川市保健センター)、②電話での予約(桶川市新型コロナワクチン接種コールセンター・0120-400-750 平日午前9時～午後5時)、③Webでの予約(追加接種予約専用ページ)となっています。詳細につきましては、市ホームページよりご確認ください。コロナ禍中、寒さも厳しさを増しております。くれぐれもお体にご留意され、本年が幸多き年でありますよう祈念申し上げます。

12月議会報告 【今回の活動報告は、令和3年12月定例会で一般質問した内容等をご報告いたします。】

【災害時の避難対応について】

災害が発生してから人命救助は、72時間が勝負といわれています。この「72時間の壁」とは、人命救助のタイムリミットのことで、一般的に被災後の3日を過ぎると生存率が著しく低下すると言われています。阪神・淡路大震災においては、当日の1月17日の救出率は75%でしたが、翌日は24%、3日目は15%、4日目では5%と救出率は大きく低下しています。また一般的に人間が水を飲まずに過ごせる限界が72時間だと言われております。

このように72時間の概念を正しく理解し、発災当初において人命救助に集中できる環境を社会全体で作ることが重要となります。そこで、災害時における対応として生命を守るタイミング、自助・共助・公助の関連性についてと、合わせて災害時に飼い主がペットを連れて避難する「同行避難」の受入れ体制を伺いました。

●質問内容 Q&A

Q1. 避難行動要支援者登録制度の協定により、提供される個別計画に基づいた現在の対象者数について伺う。

A1. 令和3年4月末時点で、248名です。日頃の声かけは、災害時に要支援者の避難支援等に携わる関係団体として自主防災組織の方をお願いをしています。

Q2. 桶川市の地域防災計画では、風水害と震災の応急対策計画が分かれているが今後、共助における自主防災組織との連携を図るには見直しをして、統一すべきと考えるが市の見解を伺う。

A2. 桶川市地域防災計画改定に際して、震災や風水害でも同じ組織で対応することを含め、体制の検討をしております。

Q3. 防災訓練にペット同行避難を含め、実施する必要があると考えますが、市の認識について伺う。

A3. 令和4年1月の総合防災訓練にペット飼養場所の設置訓練を予定しています。

Q4. 指定避難場所で人とペットは同居できるのか伺う。

A4. 避難生活を送る場所とペットを飼養する場所は、分けることとなっています。



◀質問への思い▶ 各自主防災組織と情報共有を図り、市独自の災害時避難マニュアルを作成し、市ホームページにアップして、市民が速やかに避難できるよう要望します。

【健康寿命の延伸について】

高齢化のさらなる進展が予想される日本において、健康寿命の延伸は国だけでなく、自治体でも本格的に取り組む課題となっています。医療の進歩で平均寿命は延ばせても、健康寿命は国民一人ひとりが努力をしないと延ばすことは困難です。

地域住民が関心を持ち、参加してくれるような取り組みが今後も求められます。そこで、当市における健康寿命の延伸に向けた取り組みについて伺いました。

●質問内容 Q&A

Q1. 桶川市の健康寿命と、平均寿命の推移について伺う。

A1. 埼玉県では健康寿命の指標として、65歳になった人が要介護2以上の認定を受けるまでの期間、これを健康寿命として公表しており、桶川市の2019年の平均寿命は男性81.43歳、女性は86.79歳です。65歳健康寿命につきましては、男性が18.37歳、女性が20.62歳となっております。資料をご覧ください、約10年の推移を見ますと緩やかに延伸しています。

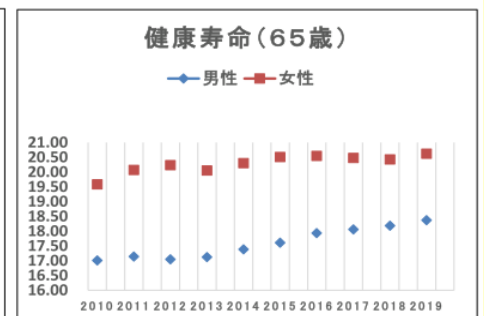
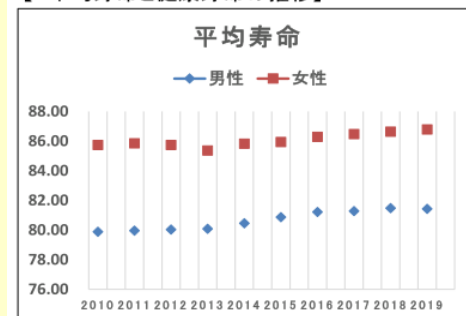
～健康寿命に影響を与える要因～

◎喫煙・食生活・運動・睡眠時間等の生活習慣や、痩せ・肥満・高血圧などが一定程度影響していることが明らかとなっています。

桶川市の平均寿命と健康寿命の推移

【平均寿命と健康寿命(年)】		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
平均寿命											
男性 埼玉県	79.42	79.64	79.72	79.81	80.00	80.28	80.58	80.85	81.01	81.14	
桶川市	79.88	79.95	80.03	80.09	80.45	80.86	81.22	81.28	81.48	81.43	
女性 埼玉県	85.80	86.05	86.09	86.03	86.13	86.35	86.62	86.82	86.94	87.05	
桶川市	85.74	85.85	85.74	85.37	85.82	85.94	86.29	86.47	86.64	86.79	
健康寿命(65歳)											
男性 埼玉県	16.74	16.85	16.84	16.85	16.96	17.19	17.40	17.57	17.64	17.73	
桶川市	17.01	17.15	17.05	17.12	17.38	17.61	17.93	18.06	18.18	18.37	
女性 埼玉県	19.68	19.77	19.76	19.75	19.84	20.05	20.24	20.36	20.46	20.58	
桶川市	19.59	20.07	20.23	20.05	20.31	20.51	20.55	20.48	20.43	20.62	

【平均寿命と健康寿命の推移】



Q2. 健康えがお桶川プランの取組に対する効果と目標値達成に向けた考えについて伺う。

A2. 中間報告を行い短期目標値を設定した30項目について、63.3%が策定時より改善傾向となっております。今後、オケちゃん体操の創作や成人の歯科検診など、最終目標値につながるよう、健康づくりや食育に取り組んでまいります。

Q3. 健康えがお桶川プランの中で減塩の推進を挙げていますが、改訂に向けての取組について伺う。

A3. 女子栄養大学との連携協定の中で、桶川市減塩パンフレットの作成を検討しています。

Q4. 健康寿命を延ばすことの重要性と社会参加への促進及び、普及啓発をどのように情報発信していくのか伺う。

A4. 「広報おけがわ」や市ホームページで広く市民に周知するとともに、講座の動画配信を行うほか、健康教室や健診の場での普及活動、また保育所や学校における啓発活動など、媒体を活用して幅広い世代への情報提供に努めてまいります。



《質問への思い》 桶川市健康づくり推進計画・食育推進計画は、平成26年から令和5年度までの10年間です。今後、健康えがお桶川プランの改訂により、子どもから高齢者まで、全ての市民が元気に笑顔で暮らせるように、そして埼玉県で健康寿命が1位となるよう、地域の関連団体・関係機関・行政と協働し取り組んでいただくよう要望します。

【道の駅整備事業について】

事業の実施や事業者の公募に先立ち、令和3年9月30日に公表した「実施方針」と「要求水準書(案)」につきましては、民間企業の本事業に対する理解を深め、参画促進を図ることを目的に個別対話を実施したところ、43件における質問や要望を受付けました。また、実施方針等についても62項目においての質問書をいただき回答をホームページで公表しております。これらの内容を踏まえ、今後実施方針等の改訂にどのように繋げていくのかまた、令和3年10月30日に行った桶川市ゼロカーボンシティ宣言における施設の位置づけについて伺いました。



●質問内容 Q&A

Q1. 整備事業に係る個別対話について、対話者数と対話内容について伺う。

A1. 対話者数は、グループでの参加を含む5つの企業から応募をいただき、実施したところです。対話内容としては、周辺施設の利用状況や設計・建設等の参加資格に関する要件の確認などの質問がありました。

Q2. 農業振興、商工業振興のための庁内での横断的な取組について伺う。

A2. 産業観光課や農政課などと合同で先進地への視察や事業者に求める内容の検討を重ね、市内農畜産物を使用した6次産業化や観光総合窓口の役割などについて、要求水準書(案)に記載したところです。

Q3. 再生可能エネルギーによるバイオマス発電の導入についての考えを伺う。

A3. 施設へのバイオマス発電を含めた再生可能エネルギーの活用など、環境負荷に配慮した取組について事業者から提案があることを期待しています。

《質問への思い》 道の駅は、防災機能のほかに、周辺農地の活用や周辺地域の振興に帰すること、また地域に再生可能エネルギーを普及させる提案がある事業者の選定を要望します。

【令和3年度 川田谷地区区長会全体会議における要望書提出】

～小野市長へ川田谷区長会の要望事項を説明する～



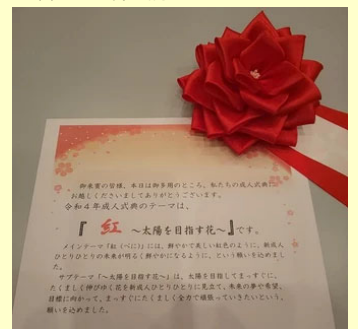
令和3年12月12日(日)午後1時30分より、川田谷区長会の皆様と地元選出3名の市議会議員で意見交換会をおこないました。今回は、令和3年4月より新たに区長となられた方々との初顔合わせも兼ねての自己紹介から始まりその後、各地区の代表者より日常生活の問題点や解決してもらいたい事など自由討論をさせていただきました。主な内容と致しましては、生活排水対策や水害対策、また防犯を兼ねた除草など多岐にわたる内容でしたが、お互いに地区の情報を共有することができました。これらの内容を取りまとめ、12月24日(金)に川田谷地区3名の議員で小野克典市長を訪問し、地区の課題に対しての要望を説明し対応をお願い致しました。これからも、区長会と協力をしながら安心・安全なまちづくりに取り組んでまいりますのでご協力の程、宜しくお願い致します。

“川島町に新ごみ施設を建設する基本合意書を締結” 川島・桶川・東松山市 3市町

ゴミ処理の広域化を検討している川島町・桶川市・東松山市の3市町は令和4年1月11日、新たなごみ処理施設を川島町に整備することで一致、川島町役場で基本合意書の締結を行いました。現時点で用地は未定だが3月までに、候補地10ヶ所を2、3ヶ所に絞り、今年9月をめどに選定する考えです。桶川市は、平成31年3月にごみ処理施設の炉を停止し、近隣の公共団体や民間施設に処理を委託しています。今後は、将来の人口減少・少子高齢社会においても、安定的、持続的に行政サービスを提供する上では、自治体間の広域連携による行政コストの抑制が必要とされていることから3市町が連携し、ごみ処理の広域化を推進してまいります。

‘桶川市成人式典’

令和4年1月10日(月)
響きの森 桶川市民ホールにて



🎉 新成人となられたみなさんのさらなるご活躍と、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。